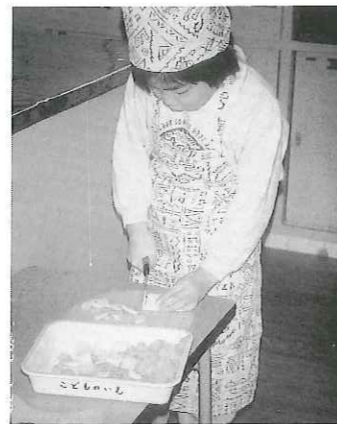


社会福祉法人聖母会の前身大和奉仕会は、明治38年以来マリアの宣教師フランシスコ修道女会の活動によって、各種の福祉事業を続けてきたもので、横浜一般病院（現山手病院）もその一つであった。



子供の家のひととき

子供たちよ！
わき目もふらず、誰も気にせず、深く専心して何かをやると、人がそれを見て笑うかも知れない。損をするかも知れない。



まわりが迷惑があるかも知れない。しかし……
本当の喜びは
そこからでてる。



あそび、語らい……仲よし……

わき目もふらず、誰も気にせず自分の足もとを掘っていくと、そこにつきることのない泉が湧く、生きるということは、掘りつづけること!!



プールあそび



夏のキャンプ

毎日の園の生活、年間行事を通じて健全な精神を培い、健康で人間性豊かな社会人となるよう、職員が生活全般、勉学等の指導をしている。



秋の運動会

■施設のあゆみ

- 終戦後の社会状況の急変により、孤児、棄子が増加し、
- 昭和21年 4月 横浜市中区山手町82番地、横浜一般病院の一角を利用して、収容、保護に当たったのが始まりとなった。
 - 昭和21年 9月 神奈川県当局の支援により、横浜市中区山手町68番地に乳児院を新設、名称を聖母愛児園として独立。初代園長は、大和奉仕会々員ルゼヌ・アンナ・マリーが就任。
 - 昭和25年 4月 収容児の成長、増加に伴い、養護施設も認可を受ける。
 - 昭和31年 8月 鉄筋コンクリート三階建着工、翌年 3月完成。
 - 昭和40年 8月 鉄筋コンクリート三階建、幼児棟、職員宿舍増築着工、翌年 5月完成。
 - 昭和45年10月 災害に備えて、避難階段、すべり台、バルコニーを増設、窓サッシの一部改修
厨房工事、食品倉庫の新築
 - 昭和49年 3月 学童風呂場改修工事着工。
49年 7月完成。
 - 昭和52年 3月 乳児減少のため、乳児院閉鎖。
現在にいたる。



七五三のお祝い

思い出… 喜び… 成長…



クリスマス会